

特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画書
(素案)



令和8年10月 多賀城市

序

平城宮跡や大宰府跡と並び、日本三大史跡に数えられる特別史跡多賀城跡附寺跡は、古代における陸奥国府及び鎮守府が置かれた城柵跡として、我が国の古代史を理解する上で極めて重要な価値を有する史跡です。大正11年に附属寺院である多賀城廃寺跡とともに国の史跡指定を受け、昭和41年には県内唯一の特別史跡に指定されて以来、本市を代表する歴史文化遺産として大切に守り継がれてまいりました。

本市では、これまで第3次保存管理計画に基づき、宮城県との連携のもと、発掘調査や環境整備事業等を進めながら、その価値の解明と適切な保存・管理に努めてまいりました。しかしながら、発掘調査や整備事業の進展、多賀城南門復元事業の完遂などにより、特別史跡を取り巻く環境は大きく変化しております。また、平成30年の文化財保護法改正により、文化財を地域社会全体で継承するとともに、地域資源として積極的に活用していくことが求められております。

こうした状況を踏まえ、本市では、「特別史跡多賀城跡附寺跡第3次保存管理計画」を改定し、新たに「特別史跡多賀城跡附寺跡保存活用計画」を策定いたしました。

多賀城跡の本質的価値を明確化し、その価値を構成する諸要素を適切に保存・管理するための基本的な考え方を示すとともに、保存を前提とした教育、学習、観光、地域振興など、これからの時代にふさわしい活用の方向性を整理したものです。策定にあたっては、学識経験者や関係機関から御指導、御助言をいただくとともに、地域住民の皆様とも対話を重ねながら検討を進めてまいりました。

今後とも、多賀城跡の保存・活用を通じて、その歴史的価値と魅力を広く発信し、次世代への継承につなげてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様をはじめ、多くの方々の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本計画の策定にあたり、御指導、御助言を賜りました特別史跡多賀城附寺跡保存活用計画策定委員の皆様、文化庁及び宮城県教育委員会をはじめとする関係機関の皆様、並びに貴重な御意見をお寄せいただきました地域住民の皆様に、心より感謝申し上げます。

令和8年9月

多賀城市長 深谷 晃祐

目次^(更新中)

第1章 策定計画の沿革と目的	1
第1節 計画策定の沿革	1
第2節 計画策定の目的	6
第3節 計画の範囲	6
第4節 他の計画との関係	9
1 本計画の位置付け	
2 本計画の上位計画等	
3 勘案する計画等	
4 連携する計画	
5 本計画との整合・反映が必要な計画等	
6 本計画の関連計画等	
7 都市計画関係法令	
第5節 計画の実施期間	26
第2章 多賀城市の概要	27
第1節 多賀城市の自然環境	27
1 位置と地形	
2 気候	
3 動植物	
第2節 社会的環境	32
1 市域の変遷	
2 人口動態	
3 産業	
4 交通	
5 観光・文化施設	
第3節 多賀城市の歴史的環境	35
1 縄文時代・弥生時代	
2 古墳時代	
3 奈良・平安時代	
4 中世	
5 近世	
6 近・現代	
7 現在—東日本大震災からの復興と多賀城創建1300年—	
第3章 特別史跡多賀城跡附寺跡の概要	52
第1節 特別史跡多賀城跡附寺跡構成遺跡の概要	52
1 史跡の位置	
2 自然環境	
第2節 指定に至る経緯	53
1 指定に至る経緯	
2 指定の状況	
第3節 史跡指定地の状況	66
1 史跡指定地の現状	
2 特別史跡の発掘調査成果	
3 多賀城南面の発掘調査成果	
4 出土文字資料	
5 出土遺物（文字資料以外）	
6 祭祀・仏教行事関係	
7 蝦夷世界との交流	

8	花粉分析による植生復元	
第4章	特別史跡の価値と構成要素	94
第1節	特別史跡の本質的価値	94
第2節	特別史跡の構成要素	94
第5章	特別史跡の現状と課題	98
第1節	保存管理における現状と課題	98
1	調査研究の推進と保存	
2	地区区分と現状変更の取扱基準	
3	土地公有化	
4	自然環境・歴史的重層性に係る保存管理	
5	歴史的重層性を引き継ぐ景観	
6	維持管理	
第2節	活用における現状と課題	116
1	学術的な研究対象としての利用	
2	学びの場としての利用	
第3節	整備における現状と課題	125
1	保存・保全のための整備	
2	活用のための整備	
3	管理運営のための整備	
第6章	保存活用計画の基本理念と基本方針	142
第1節	計画の基本理念	142
第2節	基本目標	142
第3節	基本方針	143
第7章	保存管理の方向性と方法	145
第1節	保存管理の方向性	145
第2節	保存管理の方法	146
第8章	活用の方向性と方法	158
第1節	活用の方向性	158
第2節	活用の方法	159
第9章	整備の方向性と方法	162
第1節	整備の方向性	162
第2節	整備の方法	163
第10章	運営・体制の方向性と方法	170
第1節	運営・体制の方向性	170
第2節	運営・体制整備の方法	170
第11章	施策の実施計画	172
第1節	施策の実施計画	172
第2節	保存管理の実施計画	172
第3節	活用の実施計画	172
第4節	整備の実施計画	172
第5節	運営体制の実施計画	173
第12章	経過観察・維持管理	174
第1節	施策の取組に対する経過観察	174
第2節	経過観察の方法	174
1	史跡の自己点検表	
2	管理カルテ	
3	維持管理	
附章	計画策定の体制と経過	181